

LIBRARY NEWS

* 10月号 *



すっかり暑さも和らぎ（むしろ寒い）、秋らしくなってきましたね。二大行事・中間考査も無事終了しましたが、疲れは溜まっていますか？体調をくずさないよう気を付けましょう。さて今回は、今月の新刊と芥川賞作品の紹介をします。裏面には図書委員会オススメ本もありますので、チェックしてくださいね☆

* ちょっと気になる最新刊 *

秘島図鑑
清水 浩史



遠く離れた小さな島々から、今の日本が見えてくる！日本人が行けない「秘島」33を厳選して紹介。行けない島を身近に感じるための「実践編」も収録。

思い出のとき修理します
谷 瑞恵



子供の頃に少しだけ過ごした思い出の商店街で不思議な時計店を見つけた明里。次第にその店を営む青年に惹かれてゆくが…。商店街が舞台の、心を癒す連作短編

焼かないケーキ
森崎 繭香



パットや保存瓶など身近な道具で作る、オープンいらすの簡単レシピ集。“生地を作って焼く”という工程を省いた「焼かないケーキ」を満載。

その他新刊一覧☆

※貸出可能

0	?(疑問符)が!(感嘆符)に変わるとき	小国綾子	マーケティングに使える「家計調査」	吉本 佳生
1	カラーでよみがえる東京	岩田 真治 他	6 廃線紀行	梯 久美子
2	命と平和につくした人の伝記	塩谷京子 監修	十字架を背負った尾根	清泉 亮
	万次郎：地球を初めてめぐった日本人	岡崎 ひでたか	7 英語対訳で読む日本の世界遺産	ブルーガード編集部
3	日本の大問題「10年後」を考える	一色 清 他	中野京子と読み解く名画の謎 対決編	中野 京子
	国会議事堂	田原 桂一	スポーツで夢をあたえた人の伝記	塩谷京子 監修
	円安亡国	山田 順	8 生き延びるための作文教室	石原 千秋
	十代の選択	プロジェクトi	異人館画廊1~3	谷 瑞恵
	君たちには話そうかされた戦争の歴史	いしい ゆみ	ヒトリコ	額賀 滯
4	親子でハマる科学マジック86	渡辺 儀輝	ぼくは明日昨日のみきとデートする	七月隆文
	137億年の宇宙の神秘	宇宙科学研究倶楽部	日本のいちばん長い日	半藤 一利
	大自然が創りだした奇観の地球	山賀 進	「悩み部」の栄光と、その慢心。	麻希 一樹
	日本の山を数えてみた	武内 正 他	9 季節はうつる、メリーゴーランドのように	岡崎 琢磨
	植物はすごい	田中 修	10 星球	中澤 日菜子
	君がここにいるということ	緒方 高司	ぼくらと犬の小さな物語	山口 花
	生きること死ぬこと物語ること	宮坂 和男	ファイト！木津西高校生徒会	本田 有明
6	木を知る・木に学ぶ	石井 誠治	渋谷ギャル店員ひとり	栗山さやか
	商店街はいま必要なのか	満園 勇	はじめたアフリカボランティア	
			リフカの旅	カレン・ヘス
			アーチャー・グリーンと魔法図書館の謎	D.D.エヴェレスト

第153回芥川賞 特集

※「火花」については、すでに5月号で紹介していますので、ここでは割愛します。

芥川賞とは？

昭和10年に芥川龍之介を記念して制定された賞。新聞・雑誌等に発表された、純文学作品中最も優秀な作品に授与されます（純文学とは、芸術性・形式を重視している文学のこと）。年2回行われ、対象作家は「無名もしくは新人」とされています。



★ 受賞作 ★

スクラップ・アンド・ビルド
羽田 圭介



「早う死にたか」と毎日のようにぼやく祖父の願いをかなえてあげようと、ともに暮らす孫の健斗は、ある計画を思いつく。閉塞感の中に可笑しみ漂う、新しい家族小説。

* 候補作 *

※「夏の裁断」は入荷していません。

ジミ・ヘントリクス・エクスペリエンス
滝口 悠生



愛おしい日々記憶は、呼び起こすたびにその姿を変える。人と世界へのあたたかいまなざしと、緻密で大胆な語り融合した、記憶と時間をめぐる小説。

MとΣ
内村 薫風



誤審と解放。メイツとマデラ。意志と衝動。フラック企業とドカI。野性と理性。42と1…。その日、世界で同時に起こった「奇跡」のすべて。表題作など全3作を収録。

朝顔の日
高橋 弘希



凜太はテーベを患い療養する妻を足繫く見舞っている。身体も精神も、安静に保つ日々。しかし病状は悪化、咽喉の安静のため若い夫婦はついに会話を禁じられ…。

今までの主な受賞作品



「蹴りたい背中」
綿矢りさ
2003年 下半期
第130回受賞
最年少記録
19歳11ヶ月
★図書館あり



「abさんご」
黒田夏子
2012年 下半期
第148回受賞
最年長記録
75歳9ヶ月



「太陽の季節」
石原慎太郎
1955年 下半期
第34回受賞



「限りなく透明に近いブルー」
村上龍
1976年 上半期
第75回受賞
★図書館あり



「苦役列車」
西村賢太
2010年 下半期
第144回受賞
★図書館あり

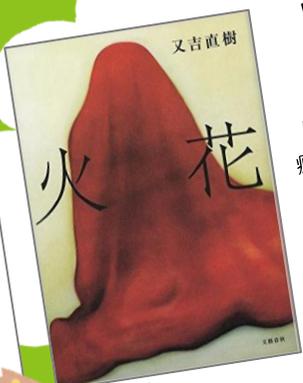


「共喰い」
田中慎弥
2011年 下半期
第146回受賞

図書委員オススメ本



今まで紹介した本もあわせて、図書館内の特設コーナーに置いて
いますので、興味のある本があれば、ぜひ読んでみてくださいね♪



火花 又吉 直樹

「火花」は、主人公の若手芸人「僕」が語り手となり、ちょっと癖のある先輩芸人「神谷」と過ごした濃密な青春を描いた、中編小説です。この本は、お笑いコンビ「ピース」の又吉直樹さんが書いた小説で、第153回芥川賞を受賞しました。ぜひ読んでみてください。



テンペスト
ウィリアム・シェイクスピア

自分はこの作品を「絶園のテンペスト」というアニメで知りました。シェイクスピアの名前は聞いた事があるけど、どんな作品があるか、知っている人は少ないと思います。是非、調べて見てください。



ベリーショート 谷村 志穂

誰もが一度は経験したい、高校生のあわく、あおい『恋』。ストロベリー、ブルーベリー、ラズベリー、クランベリー…種類ごとに味わえるちょっぴり苦く、ちょっぴり甘酸っぱい恋の短編集になっています。カップル、片思い、あいまいな関係、いくつもの物語をご賞味ください。



スノウ・ティアーズ 梨屋 アリエ

穏やかな日々を過ごしたいと願う少女、君枝。彼女には、見えないものが見えたり、聞くことができる特異な体質をもっていた。そんな「不思議体質」を唯一理解してくれる人物、君枝の幼なじみの陸。この本は君枝と陸が「不思議体質」を体験する話である。